



2022年度 環境経営レポート



埼玉運輸株式会社

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



CONTENTS

1. トップメッセージ	・・・1	5. 環境経営目標 トライアル	・・・7
2. 会社概要 概要 拠点	・・・2	6. 環境経営計画・実績 実施 トライアル& 中長期	・・・8
3. 実施体制 環境経営組織図 責任及び権限	・・・4	7. 法のまとめ	・・・9
4. 環境経営方針	・・・6	8. 目標と実績	・・・10
		9. 代表者評価・指示	・・・11

◆ 報告対象期間

∴ 2022年4月1日～2022年6月30日

◆ 発行日

∴ 2022年8月1日

自然と共存、そんな物流会社でありたい。

利益追求が先行し、環境破壊なんて気にしないという会社は目指していません。当社はプロドライバーを育てることが目的ではありません。人格を磨き、人としてどう環境を考えられる人間力のある人材育成に取り組んでいます。

ミッション・ビジョン・バリューを定義とし、信頼・信用される企業を目指します。どんなことにも感謝する気持ちを忘れずベストを尽くします。人間力を高めることで、思いやり、気配り、心遣いが養われ、事故の低減、自然環境への配慮ができるようになります。

このような人材が増えることにより、社外の皆さんから選んでいただくことにも繋がりますし、自然からも愛され共存できると信じております。



社員は家族！社員ファーストの会社です！！



代表取締役社長 高橋 秀樹

社名	埼玉運輸株式会社
創業年月	昭和50年6月
設立年月	昭和54年9月
資本金	1,000万円
代表者	高橋 秀樹
営業種目	一般貨物輸送 物流業務請負 EC物流業務請負 環境サービス 倉庫業
従業員数	206名
車両紹介	トラクタ 3台 大型車 97台 4t車 50台 3t車 9台 2t車 20台 1t車 2台 軽車両 3台



事業所	所在地
本社営業所	〒350-1320 埼玉県狭山市広瀬東1-10-2
狭山営業所	〒350-1301 埼玉県狭山市青柳1471-1
所沢営業所	〒359-0002 埼玉県所沢市中富1123-1
日高車庫	〒350-1223 埼玉県日高市高富82-3
柏原車庫	〒350-1300 埼玉県狭山市柏原230-11
三芳車庫	〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富1192-1
ロジスティクスセンター	〒359-0002 埼玉県所沢市中富1123-1
仙台車庫	〒983-0002 宮城県仙台市宮城野区蒲生町1-2-7
鈴鹿営業所	〒519-0213 三重県亀山市田村町659-3
行橋営業所	〒524-0073 福岡県行橋市福丸764-1
古賀営業所	〒811-3134 福岡県古賀市青柳1187-1



3. 実施体制_環境経営組織図



3. 実施体制_責任及び権限

役割 役職	責任及び権限
代表者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営における課題とチャンスを整理し明確にする 2. 環境経営方針の策定及び従業員への周知 3. 環境管理責任者の任命 4. 環境経営資源の確保 5. 全体の取組状況の評価と見直し・指示 6. 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA21活動全般の構築・運用 2. 環境経営目標・環境活動計画の承認 3. 取組状況の把握・評価 4. 環境関連法規の取りまとめ表・遵法評価の承認 5. 教育・訓練計画の承認 6. 代表者の指示の関連部署への実施指示 7. EA21の実施状況を経営者へ報告
EA21事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA21活動全般の推進 2. 環境負荷の自己チェック、取組の自己チェックの実施 3. 環境活動目標・計画の原案の作成 4. 環境活動実績集計 5. 環境関連法規取りまとめ表の作成、遵法評価の実施 6. 環境経営レポートの作成、公開 7. EA21文書類の保管・管理
部門責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自部門の環境目標、環境実行計画の策定・実施 2. 苦情、要望等の把握、報告、対応の実施 3. 緊急事態対応訓練の実施 4. 是正・予防措置の実施 5. 自部門の活動計画の実施及び達成状況の報告 6. 代表者による改善事項指示の実施
従業員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営目標・活動計画のうち自部門に関する項目の実施 2. 決められたことを守り、積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営方針

基本理念

埼玉運輸株式会社は物流事業を通じ、環境保全に配慮し考動するとともに、全従業員で環境諸問題の取組みを積極的に推進します。

行動指針

当社は、物流の事業活動を行う上で、基本理念の実現に向け、環境問題への負荷を低減し自然と共存できる社会責任を果たすことを重要な経営課題として位置付け、次のとおり、環境負荷の継続的な改善を図ります。

1. 事業活動に伴う環境負荷を低減し、環境への負荷を最小限にとどめるため、次の取組を行います。

(1) 事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減

(2) 水使用量の削減

(3) 廃棄物排出量の削減

2. 環境経営の継続的改善を実施します。

3. 環境関連法規などを遵守します。

4. 周辺地域の生活環境を損なわないように公害防止に努めます。

5. エコアクション21の取組に対して、全従業員参加の活動をします。

6. 環境経営方針は公開します。

制定日 2022年4月1日

埼玉運輸株式会社
代表取締役社長 高橋 秀樹



5. 環境経営目標 トライアル&中長期

目標項目		単位	2021年度基準値 (2021/04～ 2022/03)	取組み	2022年度 トライアル期 間 (2022/04～ 2022/06)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
			2021年度基準値 3カ月間 (2021/04～ 2021/06)							
CO2 排出 関連	全体	電力使用量削減	893,655	目標値	208,540	884,718	875,782	866,845	857,909	
			210,646	基準値比	-1.0%	-1.0%	-2.0%	-3.0%	-4.0%	
		ガソリン使用量削減	0	2022年から 2022年から	目標値					
			0		基準値比					
	軽油使用量削減	0	13,755,666	目標値	340,452	13,618,109	13,480,553	13,342,996	13,205,439	
		0	343,891	基準値比	-1.0%	-1.0%	-2.0%	-3.0%	-4.0%	
	LPGガス使用量 削減	Kg/年	929	目標値	163	920	910	901	892	
			165	基準値比	-1.0%	-1.0%	-2.0%	-3.0%	-4.0%	
温室効果ガス排出量の削減		Kg-CO ₂	3,549,889	目標値	855,846	920	910	901	892	
			864,491	基準値比	-1.0%	-1.0%	-2.0%	-3.0%	-4.0%	
総排水量の削減		m ³	4,513	目標値	1,219	4,468	4,423	4,378	4,332	
			1,231	基準値比	-1.0%	-1.0%	-2.0%	-3.0%	-4.0%	
廃棄物 関連	全体	一般廃棄物	1,070	目標値	287	1,059	1,049	1,038	1,027	
			290	基準値比	-1.0%	-1.0%	-2.0%	-3.0%	-4.0%	
	産業廃棄物	Kg	19,301	目標値	3,382	19,108	18,915	18,722	18,529	
			3,416	基準値比	-1.0%	-1.0%	-2.0%	-3.0%	-4.0%	
アイドリングストップ車両の増車		件	4	目標値	1	4	4	4	4	
			1	基準値比	1.0%					
エコ検定の取得		回	0	目標値	0	1	1	1	1	
地域貢献		回	1	目標値	0	1	1	1	1	

注1) 電力のCO₂換算係数：東京電力エナジーパートナー(株) 2019年実績 0.441kg-CO₂/kWh
(株)ハルエネ 2019年実績 0.395kg-CO₂/kWh

2) 2022年度トライアル期間 4月～6月、基準値：前年同月比

3) 事業年度は 4月～翌年3月。

活動項目	環境経営目標	活動実施内容	担当者	次年度取組	スケジュール			
					4月	5月	6月	
1. 二酸化炭素排出量	○電気使用量の削減 基準年度使用量210,646Kwh 削減率 △1% 使用量目標値208,540Kwh	1 ブラインド等で熱の出入りを調節している	各自	継続	●	●	●	
		2 不在時、不使用時の消灯	各自	継続	●	●	●	
		3 LED照明を採用している	営業所	継続	●	●	●	
	○ガソリン使用量の削減 基準年度使用量 0 削減率 △1% 使用量目標値 0	1 エコドライブの推進	各自	継続	●	●	●	
		2 定期的な車両の整備	各自	継続	●	●	●	
		3 公共交通機関の利用促進	各自	継続	●	●	●	
	○軽油使用量の削減 基準年度使用量309,502ℓ 削減率 △1% 使用量目標値363,401ℓ	1 エコドライブの推進	運行管理者	継続	●	●	●	
		2 定期的な車両の整備	整備管理者	継続	●	●	●	
		3 タイヤの空気圧を定期的に確認する	各自	継続	●	●	●	
	○LPGガス使用量削減 基準年度使用量165kg 削減率 △1% 使用量目標値163kg	1 必要最低限の使用	所属長	継続	●	●	●	
	2. 廃棄物	○一般廃棄物排出量の削減 基準年度排出量290Kg 削減率 △1% 排出量目標値287Kg	1 コピー用紙の裏紙再利用	所属長	継続	●	●	●
			2 紙、段ボールはリサイクル	所属長	継続	●	●	●
			3 書類の電子化の推進	所属長	継続	●	●	●
○産業廃棄物排出量の削減 基準年度排出量3,416kg 削減率 △1% 排出量目標値3,382kg		1 契約時の委託事業者の優良確認	所属長	継続	●	●	●	
		2 保管場所での適正管理	所属長	継続	●	●	●	
		3 分別の徹底	所属長	継続	●	●	●	
3. 水	○水使用量の削減 基準年度使用量1,231㎡ 削減率 △1% 使用量目標値1,219㎡	1 節水の励行	所属長	継続	●	●	●	
		2 洗車機を適正に使用する	乗務員	継続	●	●	●	
4. 環境配慮に関する項目	アイドリングストップ車両の増車	1 設備計画	所属長	継続	●	●	●	
5. 地域貢献活動	実施回数 1回/年 適時 適時	1 周辺道路の清掃 1回/年	総務課	継続				
		2 トラック協会の地域貢献活動への参加	社長	継続				
		3 施しまわりの外観整備	所属長	継続	●	●	●	

法律・条令等	最新状況 確認	遵守状況 確認日
	2022/4/1	2022/7/1
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	○	○
下水道法	○	○
浄化槽法	○	○
水質汚濁防止法	○	○
自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（自動車NOx）	○	○
消防法	○	○
資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）	○	○
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	○	○
使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	○	○
道路運送車両法	○	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	○	○
埼玉県生活環境保全条例	○	○
埼玉西部消防組合火災予防条例	○	○

※ 環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

8. 目標と実績

項目	排出量/使用料	目標/実績 評価	第一四半期	実績/目標
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量	累計目標	855,846	
		累計実績	980,933	87.2
		評価		×
	電気使用量	累計目標	208,540	
		累計実績	209,386	99.5
		評価		×
	軽油使用料	累計目標	309,502	
		累計実績	363,401	85.1
		評価		×
LPG使用料	累計目標	164		
	累計実績	184	89.1	
	評価		×	
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量	累計目標	287	
		累計実績	370	77.5
		評価		×
	産業廃棄物排出量	累計目標	3,382	
		累計実績	7,770	43.5
評価		×		
水量の削減	水使用量	累計目標	1,219	
		累計実績	1,489	81.8
		評価		×
アイドリングストップ車両の増車		累計目標	2	
		累計実績	0	0
		評価		×
地域貢献		累計目標	3	
		累計実績	0	0
		評価		×

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日 2022.07.15

実施者 代表取締役

(1) 全体の確認・評価

事項	報告内容	代表者の評価
(1)環境経営目標の達成状況	・トライアル期間中、電力・ガソリン・軽油使用量が目標未達成。 理由としては、スポット案件の対応による営業時間の拡大のため。 (前年同月比30%増加)	・目標未達項目については、その要因は把握できている。相対的に目標達成されているものと思われ、引き続き意識改革を強固なものとして、努力することを期待する。
(2)環境経営計画の実施及び運用結果	・エコ運転・重機の省エネ運転の実施など社員の環境への意識の向上が図られている。	・引続き環境への取組を全社員一丸となって取り組むように。
(3)環境関連法規のなどの遵守状況	・法規等違反は無し。	・法関係の改正状況を注視するとともに、引続き法規制の遵守をされたい。
(4)外部からの環境に関する苦情や要望	・外部からの苦情や要望は無し。	・今後とも、継続的に地域周辺環境に留意してください。
(5) 前回の指示事項への取組結果	・トライアル期間につき無し。	・トライアル期間につき無し。
(6) その他	・特に無し。	

(2) 代表者による環境方針等の変更の必要性ならびに指示事項

項目	変更要否	指示事項等
1. 環境方針	なし	なし
2. 環境目標	なし	なし
3. 環境活動	なし	なし
4. 実施体制	なし	なし
5. ()		

※年1回に実施。 報告者は環境管理責任者